

上尾合同教会 主日礼拝

2020年 5月 17日

- * ご家庭で、二人以上で礼拝をされる場合には、どなたか一人が司会者になって下さい。司会者以外の方は下記の太字の言葉をお読み下さり、司会者は太字でない言葉をお読み下さい。
- * ひとりで礼拝を為さる時は、すべてを通してお読み下さい。
- * 讃美歌は歌える環境であれば、讃美して下さい。そうでなければ心の中で歌いましょう。
- * 説教の時に、ホームページにある本日の説教録音をお聴き下さるか、『説教全文』をお読み下さい。インターネット環境がない方のために、当日昼に各週報欄に『説教全文』をお配りします。

《神のみ前に近づく》

序 詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 24-1節 (たたえよ、主の民)

共同の祈り (出席者全員で声を合わせます)

父なる神さま、このウィルスの災いの中で改めて告白します。私たちが教会で顔を合わせ、共に祈り、共に歌い、共に食事をする、そのような教会生活が当然のことのように思っていたことを。社会の状況に関わらず、自分たちの信仰と努力さえ揃(そろ)えばずっと礼拝を続けられると思っていたことを。当たり前と思っていたことが、どんなにあなたから与えられている恵みであったかを教えられています。私たちの愚かさを赦して下さい。どうか、それぞれの場所で献げている、この礼拝を守って下さい。このような形であっても、あなたを礼拝する私たちの思いをよしとして、祈りと讃美を受け入れて下さい。そして、私たちに語り掛けて下さい。今、み前にぬかなく一人一人を祝福して下さいますように。

主よ、隣人(となりびと)を愛するようにとの教えが国や周囲から制限を受けている状況があります。そのような中で何が出来るかが問われています。せめて、遠くからでも互いに声を掛け合える仲間となっていくことができますように。いつか日曜日に再会できることを楽しみにして、与えられた場所で生きて行けますように。

全能である神さま、世界中でこのウィルスと戦っておられる方々を支え、力を与えて下さい。何より生命(いのち)を守って下さい。地域や国を越えて、人類として力を合わせて対処することが出来ますように、そして終息と解決の道を備えて下さいますように。

「主よ、帰って来てください。

いつまで捨てておかれるのですか。

あなたの僕らを力づけてください。

朝にはあなたの慈しみに満ち足らせ

生涯、喜び歌い、喜び祝わせてください。

あなたがわたしたちを苦しめられた日々と

苦難に遭わされた年月を思って、

わたしたちに喜びを返してください。」

(詩編90:13~15)

*しばらく 黙禱の時 をもちます

主よ、再び、共に集められ、共にあなたを讃美する礼拝を献げられる時が、一日も早く備えられることを心より祈り願います。御名によって、アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖 書 (できれば朗読して下さい)

ゼカリヤ書 8章 20~21節 (旧p1488)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 3章 20~22節 (新p457)

これはキリストの福音です。

主なるキリストを賛美します。

讃美歌 57-1, 2節 (ガリラヤの風かおる丘で)

説 教

『黙示録⑩—私は戸口に立って、たたいている』

*ここでインターネットにある説教録音を再生下さるか、『説教全文』をお読み下さい。

祝福の祈り

武田 真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 430-1, 2節 (とびらの外に)

祈 禱 (ご自身で祈ります)

*集っておられる方が一人づつお祈り下さい。時間がない場合等、代表の方がお祈り下さい。

献 金

*各自用意した献金袋に入れ、後日お献げ下さい

主の祈り (声を出して祈りましょう!)

讃美歌 90-1節 (主よ、来たり)

祝 禱

*説教録音の最後に「祝禱」を祈ります。

黙 禱 (心を静めて祈ります)